薬剤科

医療技術の進展とともに薬物療法が高度化しているため、医療の質の向上、医療安全確保の観点から、薬の専門家である薬剤師が積求められております。当薬剤科では、患者様の立場に立ち、患者様が安心して薬物療法が受けられるよう、チーム医療の一員として安全かつ適正な薬物治療の提供に努めております。

当院で処方された薬について分からないことや不安なことがありましたら、当院の薬剤師がご相談に応じますので遠慮なくご質問ください。

スタッフ紹介

薬局は協和中央病院：薬剤師8名、事務1名でお薬に関わる業務を行っています。

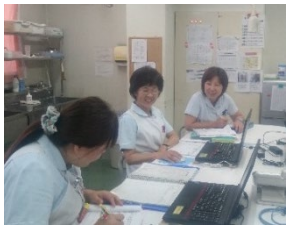
業務内容

➢ 調剤業務

患者様に処方された薬の名称、用法、用量、相互作用（飲み合わせ）などを確認しながら調剤し、医師とともに有効で安全な薬物療法を支えています。

➢ 病棟業務

全ての病棟に薬剤師を配置し、安全に薬が使用されているか確認しています。また、薬の用法、用量、副作用などを患者様にお伝えすることで、患者様の不安や疑問をなくし、安心して服薬できるよう心がけています。患者様が持参された薬の確認や、使用に注意が必要な薬（ハイリスク薬）の管理にも力を入れています。



➢ 注射薬混合業務

一部の注射剤（中心静脈点滴）や抗がん剤の混合をキャビネット内で行っています。薬の相互作用を確認し、複数の薬剤師で監査をした上で混合しています。
抗がん剤は、処方内容について個人計画表に基づき、投与量、投与速度、投与間隔などの薬学的チェックを行います。

➢ 医薬品管理業務

病院内で使用される薬の購入、在庫管理及び有効期限などの品質管理を行い、良質な医薬品を安定供給しています。